

1 / 2

工	○	王	中	六	工	○	王	中	六	工	○	王	尺	中	四	○	合	○
中	○	中	尺	工	○	合	四	七	○	五	五	工	○	合	四	うた		
を	ぼく	は	どれ	くら	い	しっ	て	る	ん	だ	ろう	かが						
七	○	五	四	工	○	中	○	上	中	工	中	上	○	合	四			
や	ぐ	ほ	し	も	な	が	れ	る	く	も								
中	○	中	尺	工	○	工	四	七	○	五	五	工	○	合	四	な		
ま	え	を	き	か	れ	て	も	わ	か	ら	ない							
七	○	五	五	工	○	中	○	上	中	上	四	○	合	四	で			
も	上	四	中	○	合	○	五	○	工	中	工	○	合	○				
か	な	し	い	と	き	も	う	れ	し	いと	き							
四	○	上	四	上	中	中	○	尺	○	尺	四	尺	○	尺	王	五		
も	工	○	七	六	七	工	○	五	○	工	○	五	工	○	○	五		
の	そ	ら	を	き	よう	か	し	よ	に									
○	工	合	工	合	工	七	六	七	○	工	○	工	○	七	六	七		
る	こと	だけ	じゃ	わ	か	ら	ない											
○	工	七	六	七	○	六	七	○	工	尺	中	○	合	七	六	たいせつ		
な	もの	が	きつ	と	こ	こ	に	あ	る	は								
七	工	七	六	七	○	五	五	七	○	七	○	五	七	五	工	○		
それがー	し	まん	ちゆ	ぬ	た	か	ら											
七	工	尺	中	○	四	上	中	○	工	○	老	○	上	○	佬	○		

合　　○　　工　　○　　合　　四

一、僕が生まれたこの島の空を

僕はどれくらい知ってるんだろう

輝く星も流れる雲も

名前を聞かれてもわからない

でも誰より誰よりも知っている

悲しい時も嬉しい時も

何度も見上げていたこの空を

教科書に書いてある事だけじゃわか

らない

大切な物がきつとここにあるはずさ

それが島人ぬ宝

二、僕が生まれたこの島の海を

僕はどれくらい知ってるんだろう

汚れてくサンゴも減って行く魚も

どうしたらいいのかわからない

でも誰より誰よりも知っている

砂にまみれて波にゆられて

少しづつ変わってゆくこの海を

テレビでは映せないラジオでも流せ

ない

大切な物がきつとここにあるはずさ

それが島人ぬ宝

三、僕が生まれたこの島の唄を

僕はどれくらい知ってるんだろう

トウバラーマもデンサー節も

言葉の意味さえわからない

でも誰より誰よりも知っている

祝いの夜も祭りの朝も

何処からか聞こえてくるこの唄を

いつの日かこの島を離れてくその日

まで

大切な物をもつと深く知っていたい

それが島人ぬ宝